

あい・あいバス乗降客調査報告書

1 目的

あい・あいバスの利用状況を把握し、今後の運行改善の資料とするために本調査を実施しました。

2 調査期間

令和2年8月3日（月）から令和2年8月7日（金）まで

3 調査ルート

調査期間中に運行のあい・あいバス全ルート（4ルート 1日あたり4便）

4 調査方法

地域振興課職員が2台のバスにそれぞれ1名乗車し、バス停ごとの乗車人数と降車人数を確認した。

5 調査結果

(1) 全体の傾向について

ルートごとの乗降者数（延べ・1週間の合計）

車両	ルート	乗降者数	午前乗降者数	午後乗降者数
いがまん号	須影・岩瀬ルート	48人	32人	16人
	川俣・新郷ルート	54人	46人	8人
ムジナもん号	手子林・三田ヶ谷ルート	156人	116人	40人
	井泉・村君ルート	158人	112人	46人
合計		416人	306人	110人

- ・全てのルートにおいて、午前の乗降者が午後の乗降者を大きく上回っている。
- ・ルート別では、市域の西側（須影・岩瀬ルート及び川俣・新郷ルート）に比べて、市域の東側（手子林・三田ヶ谷ルート及び井泉・村君ルート）の利用者数が多く3倍程度であった。これは、市域の西側については、市内の移動において、あい・あいバス以外の公共交通機関（民間バスや秩父鉄道）が利用できる環境にあることも一つの要因であると考えられる。

(2) 利用者の多いバス停

①乗降客の多いバス停

バス停名	人数	ルート
羽生駅（東口・西口）	107人	全ルート共通
市役所	50人	全ルート共通
本町・プラザ前	23人	全ルート共通
堤	16人	井泉・村君
パープル羽生入口		全ルート共通
東町郵便局前	15人	全ルート共通
南羽生駅	14人	須影・岩瀬、手子林・三田ケ谷
神戸東	11人	手子林・三田ケ谷
キャッセ羽生・水郷公園		手子林・三田ケ谷

②乗車数の多いバス停

バス停名	人数	ルート
羽生駅（東口・西口）	64人	全ルート共通
市役所	22人	全ルート共通
本町・プラザ前	12人	全ルート共通
南羽生駅	10人	須影・岩瀬、手子林・三田ケ谷
堤	9人	井泉・村君
パープル羽生入口		全ルート共通
東町郵便局前	8人	全ルート共通

③降車数の多いバス停

バス停名	人数	ルート
羽生駅（東口・西口）	43人	全ルート共通
市役所	28人	全ルート共通
本町・プラザ前	11人	全ルート共通
神戸東	9人	手子林・三田ケ谷
堤	7人	井泉・村君
パープル羽生入口		全ルート共通
東町郵便局前		全ルート共通
キャッセ羽生・水郷公園		手子林・三田ケ谷

- ・バス停ごとの利用状況は、羽生駅、市役所、本町・プラザ前の利用が乗車、降車ともに多く上位3箇所となっており、駅や公共施設を目的とした利用が考えられる。
- ・次いで、堤やパープル羽生入口が乗車、降車ともに多く、特に堤は1ルートしか通過していないことから、地域の方の一定の利用があることが推察できる。

- ・降車数が多いバス停として神戸東（誠和福祉高校最寄り）やキヤッセ羽生・水郷公園があり、それらの施設が移動の目的地となっていることが推察できる。

（３）ルートごとの傾向について

①須影・岩瀬ルート（いがまん号）

乗降の合計が多いバス停

バス停名	人数
市役所	16人
南4丁目	6人
下川崎八幡	5人
羽生駅	
羽生総合病院	4人

乗車が多いバス停

バス停名	人数
市役所	7人
羽生駅	3人
南6丁目	2人
下川崎八幡	
下新郷中	
小松神社	
羽生総合病院	

降車が多いバス停

バス停名	人数
市役所	9人
南4丁目	5人
下川崎八幡	3人
羽生総合病院	2人
羽生駅	

- ・乗降ともに市役所の利用が最も多く、市役所を中心とした利用形態である。
- ・次いで、南4丁目（スーパーマーケット最寄り）の利用（特に降車）が多く、買い物目的の利用と考えられる。
- ・羽生駅の利用が他のルートと比べて少ない。これは、民間バス等で駅にアクセスできる環境にあることが一つの要因と考えられる。
- ・乗降とも利用がなかったバス停が全体の約58%であった。

②川俣・新郷ルート（いがまん号）

乗降の合計が多いバス停

バス停名	人数
羽生駅	14人
市役所	5人
パープル羽生入口	4人
下新郷北	

乗車が多いバス停

バス停名	人数
羽生駅	9人
本川俣	3人
市役所	2人
中新田橋	
小須賀団地	
東町郵便局前	
下新郷北	

降車が多いバス停

バス停名	人数
羽生駅	5人
市役所	3人
パープル羽生入口	
下新郷北	2人
勘兵衛松	
本町・プラザ前	
宿中	

- ・乗降ともに羽生駅の利用が最も多く羽生駅を中心とした利用形態である。
- ・次いで、市役所、パープル羽生入口（医療機関最寄りでもある）の利用が多く、公共施設や医療機関を目的地とした利用と考えられる。
- ・乗降とも利用がなかったバス停が全体の約44%であった。

③手子林・三田ヶ谷ルート(ムジナもん号)

乗降の合計が多いバス停

バス停名	人数
羽生駅	41人
市役所	15人
南羽生駅	13人
神戸東	11人
キヤッセ羽生・水郷公園	

乗車が多いバス停

バス停名	人数
羽生駅	27人
南羽生駅	9人
市役所	5人
本町・プラザ前	

降車が多いバス停

バス停名	人数
羽生駅	14人
市役所	9人
神戸東	
キヤッセ羽生・水郷公園	7人
東町郵便局前	5人
本町・プラザ前	

- ・乗降ともに羽生駅の利用が最も多く羽生駅を中心とした利用形態である。
- ・乗車は、南羽生駅からが次いで多いことから、鉄道利用者が鉄道降車後に目的地へ向かう目的で利用していると考えられる。
- ・降車は、市役所、神戸東（誠和福祉高校最寄りバス停）、キヤッセ羽生・水郷公園が多いことから各施設の利用者等が乗車していると考えられる。
- ・乗降ともないバス停が全体の約26%であった。

④井泉・村君ルート(ムジナもん号)

乗降の合計が多いバス停

バス停名	人数
羽生駅	47人
堤	16人
市役所	14人
本町・プラザ前	9人
香取神社	8人

乗車が多いバス停

バス停名	人数
羽生駅	25人
堤	9人
市役所	7人
本町・プラザ前	6人

降車が多いバス停

バス停名	人数
羽生駅	22人
堤	7人
市役所	
香取神社	4人
枯杉	
北尾崎	

- ・乗降ともに羽生駅の利用が最も多く羽生駅を中心とした利用形態である。
- ・次いで、堤の利用が多い。このバス停は、公共施設や医療機関等の最寄りバス停でないことから近隣住民による定期的な利用があると考えられる。
- ・市役所、本町・プラザ前は公共施設の最寄りバス停であり、香取神社は医療機関の最寄りバス停であることから、それらの施設等の利用者が利用していると考えられる。
- ・乗降とも利用がなかったバス停が全体の約35%であった。

(4) まとめ

全体を通して、駅、公共施設、通院、買い物等が主な利用目的であると考えられる。その中でも、乗降客が多いバス停上位9か所に利用の約63%が集中している状況である。

特定のルートのみ停車するバス停でも利用が上位の箇所があり、近隣住民による一定の利用があると考えられる。

また、全バス停のうち、およそ4割で乗降とも調査期間中の利用がなかった。

今後、この調査結果をもとに、乗合型デマンド交通の導入を含めた羽生市の公共交通のあり方について参考としていきます。